

会議報告

平成19年度動物衛生試験研究推進会議の概要

平成19年度動物衛生試験研究推進会議が平成20年2月14日(木)に動物衛生研究所本所講堂において開催されました。参集者所属部局(人数)は以下の通りです。

社団法人畜産技術協会(外部委員; 1)、麻布大学獣医学部(外部委員; 1)、農林水産省農林水産技術会議事務局(2)、農林水産省消費・安全局(2)、農林水産省動物検疫所(1)、農林水産省動物医薬品検査所(2)、農業・食品産業技術総合研究機構(1)、中央農業総合研究センター(1)、畜産草地研究所(1)、食品総合研究所(2)、東北農業研究センター(1)、九州沖縄農業研究センター(1)、家畜改良センター(1)、農林水産消費安全技術センター(1)、北海道立畜産試験場(1)、栃木県県家畜保健衛生所(2)、群馬県家畜衛生研究所(1)、岡山県岡山家畜保健衛生所(1)、島根県農林水産部(2)、沖縄県家畜衛生試験場(2)、動物衛生研究所(27)。以上54名。

1. 動物衛生研究を巡る情勢

動物衛生研究所企画管理部長から、国内外の家畜疾病発生の動向をもとにした動物衛生研究の取り組みを説明しました。また、農林水産省大型委託プロジェクト「牛海綿状脳症(BSE)および人獣共通感染症制圧のための技術開発」の5年間の成果について、さらには新規プロジェクト研究「鳥インフルエンザ、BSE等高精度かつ効率的なリスク管理技術の開発」「生産・流通・加工工程における体系的な危害要因の特性解明とリスク低減技術の開発」の公募状況について説明を行いました。

2. 今年度の研究成果と次年度の研究推進方向

動物衛生研究所の各研究チーム担当の研究管理監・センター長の進行の下で、それぞれの研究チ

ーム長が人獣感染症研究、ウイルス病研究、国際重要感染症研究、プリオン病研究、細菌・寄生虫病研究、ヨーネ病研究、次世代製剤開発、環境性・常在性疾病研究、疫学研究、生産病研究、安全性研究における本年度の研究成果、次年度の推進方向を説明し、討論が行われました。

3. 動物衛生研究の重点研究推進方向

「鳥インフルエンザに関する研究推進方向」、「BSEに関する研究推進方向」、「畜産物における病原微生物のリスク低減化に関する研究推進方向」について、それぞれ担当研究管理監等から説明がありました。また、「養豚業の経済性向上に向けた潜在的感染に関する研究推進方向」として次世代製剤開発チーム上席研究員より内容の説明がありました。

4. 主要研究成果の検討、評価、採択

動物衛生研究所の各研究チーム担当の研究管理監・センター長の進行により、担当研究チーム長が25課題の主要研究成果候補課題について報告し、質疑と評価を行いました。一部の課題については成果情報名、分類、本文等の修正を条件に修正案を総括推進会議に提案することになりました。

5. 連携・協力に関する事項

(他機関からの要望事項)

島根県家畜病性鑑定室から出された「ヨーネ病診断用ELISAキットに関する要望」をはじめ2点の要望事項に対し、動物衛生研究所から担当管理監が対応方針の概要を説明し、関連討議を経て対応方針が了承されました。

(企画チーム)